



■ 会長挨拶 平林辰夫君

緊急事態宣言が全国において解除されました。東京では 4 月には新規感染者数が 200 人/日を超える時期もありましたが、5 月 23 日にはついに 2 人となりました。一昨日 24 日は 14 人と再び 2 桁になるなどまだ完全終息とはいきません。25 日の新規感染者は 8 人とまだ 0 とはなりません。長野県は 5 月 12 日以来新規感染者の報告はされていません。とりえず大きなヤマは越えたのかなと思います。そこで改めて日本全体のコロナへの対応状況を簡単に見てみましょう。1 つの指標となっている「10 万人あたり死者数」などで、日本は 0.5 人台(5 月半ば時点)と、かなりよい数字を出しています(米国は 30 人弱で、スペイン・イタリア・イギリスは軒並み 50 人超。ドイツでも 10 人弱)。台湾・韓国など日本よりもよい数字の国・地域もありますが、死者を抑え込みつつ回復者を増やすという日本のスタンスは、よい結果に結びついたと評価してもよいのではないかと思うのです。1 つは、PCR 検査数と医療機関のキャパシティのバランスです。医療機関のキャパシティを見定めながら、症状の重い方を中心に PCR 検査を実施しました。その手法は一部から批判も浴びていますが、これはバランスのとれた方法だったのではないかと認めざるを得ません。日本ではそのバランス重視の考え方がブレなかったことで、ギリギリで医療崩壊を免れることができたのではないのでしょうか。どんどん検査数だけ増やして、症状が軽い人も重い人も片っ端から入院等をしてもらうというスタンスだったら、あちこちの病院でキャパシティを超える事態が起き、各地で医療崩壊が起こったと思います。日本は、一部の人を除いて自分の身は自分で守る行動が他の国に比べて少し勝っていたにすぎません。ただ、いずれ来ると言われている第二波はより強毒性が強くなる可能性もゼロではなく、そうはいかないかもしれません。また、ロータリー活動の自粛で使われなかった活動資金の一部を消毒剤の寄付という形で社会貢献する方法が検討されていることを報告して会長挨拶を終わります。



■ 理事会報告・幹事報告 小松賢三君

○本日の例会は通常例会塚田良夫会員卓話となります。

○茅野 RC 第 25 代会長、2008-2009 年度諏訪グループガバナー補佐の松木修治会員が 23 日(土)されました。心よりお悔やみ申し上げます。

○クラブ計画書の原稿締め切りが今月末となっています。期日までに事務局まで提出してください。

○今後の予定

6 月 2 日(火) 通常例会・新旧合同理事会

6 月 16 日(火) 会長杯ゴルフ・さよならパーティー

6 月 9 日(火) 通常例会

6 月 23 日(火) 指定休日

■ 出席報告・ニコニコBOX 出席 25 名(出席率 70.0%) ニコニコ BOX13 名より 26,000 円

■ 例会プログラム 会員卓話 塚田良夫君

【会員増強とは】

1. 会員増強はロータリーの活動を継承し、クラブの更なる発展の為には重要な事です。
2. 新会員はクラブを活性化し明るく楽しくします。
3. 増強活動は職業奉仕を担うと共にロータリーを学ぶ機会です。
4. ロータリーの理念や奉仕活動を地域に広める一助になります。
5. 会員増強はクラブや地区の経済的な基盤を確立します。
6. 会員候補者自身にとって得がたい仲間が出来、そして経営者として、人として素晴らしい成長の場になります。